

6. 基本的な方針・目標

6.1 計画の基本的な理念・方針

町の地域公共交通に関する課題を踏まえて、平取町における地域公共交通の基本理念と基本方針を設定しました。

基本理念：町内外の生活移動や広域移動を支える 持続的な地域公共交通の構築

基本方針Ⅰ：町民が安心して生活できる生活圏交通の維持・確保 【課題①③に対応】

- ・高齢者から子供たちまで、平取町民が将来にわたり安心してゆたかに生活できるように、町内や隣接する日高町への買い物や通院、通学などの日常的生活移動を支える利便性の高い生活圏交通の維持・確保を目指します。

基本方針Ⅱ：町外との広域移動を支える公共交通体系の形成 【課題④⑤に対応】

- ・札幌市や苫小牧市など、北海道や地域の中心都市と平取町の間で町民や来訪者の移動手段を確保するため、広域交通の維持・確保や広域交通と生活圏交通の接続の円滑化に努めます。

基本方針Ⅲ：持続的な地域公共交通の実現 【課題②⑤に対応】

- ・バスやタクシーのドライバー不足や公共交通の利用低迷等の課題がある中、将来にわたって地域の公共交通を維持できるように、担い手確保の取組や町民や来訪者の公共交通の利用促進等により、公共交通の持続性確保に努めます。

6.2 基本方針の実現に向けた目標

それぞれの基本方針に対して、具体的な目標を設定し、目標の実現に向けた取り組みを進めます。

基本方針Ⅰ：町民が安心して生活できる生活圏交通の維持・確保 【課題①③に対応】

【目標 1】 町民生活や地区特性に適合した生活圏交通の維持・確保

- ・平取町民の買い物や通院、通学、通勤等の日常生活における町中心地（本町・振内町）や日高町富川地区などへの生活移動を支えるため、ニーズを踏まえた運行改善や適切な支援による既存公共交通の運行の維持、町内各地区の特性に応じた新規公共交通や代替公共交通の導入検討等を行うことで、デマンドバスや路線バス等の生活圏交通を維持・確保します。

【目標 2】 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進による生活圏交通の利便性向上

- ・近年、発展が著しいIoTやICT等のテクノロジーを活用し、公共交通におけるDXを推進することで、生活圏交通のサービスを高度化し、利便性の向上を図ります。

基本方針Ⅱ：町外との広域移動を支える公共交通体系の形成 【課題④⑤に対応】

【目標 3】 地域中心都市等にアクセスする広域交通の維持・確保

- ・札幌市や苫小牧市など、北海道や地域の中心都市への町民や来訪者の移動手段を確保するため、地域の関係機関や交通事業者と連携しながら、広域交通を維持・確保します。

【目標 4】 広域交通と生活圏交通の接続の円滑化

- ・町民や来訪者の広域移動の移動手段を確保し、利便性向上を図るため、運行情報の提供や公共交通の接続拠点強化等により、広域交通と生活圏交通の乗継ぎの円滑化を図ります。

基本方針Ⅲ：持続的な地域公共交通の実現

【課題②⑤に対応】

【目標 5】 地域公共交通の担い手の確保

- バスやタクシーのドライバーが不足する中で、地域の公共交通を維持していくため、ドライバー新規採用に向けた取組やボランティアドライバーの活用など、地域公共交通の担い手の確保に向けた取組を行っていきます。

【目標 6】 公共交通の積極的な利用を促す環境の構築

- 公共交通利用者を拡大し、公共交通サービスの持続性を確保するため、情報発信や広報活動等により、町民等の公共交通利用への意識醸成を図るとともに、来訪者等の公共交通利用を促す取組を行っていきます。

6.3 公共交通体系のイメージ

基本理念・方針及び目標を踏まえた平取町の公共交通体系のイメージは、下図に示すとおりであり、公共交通体系における各交通の位置付け・役割や、確保・維持等の方針は、次ページの表のとおりです。

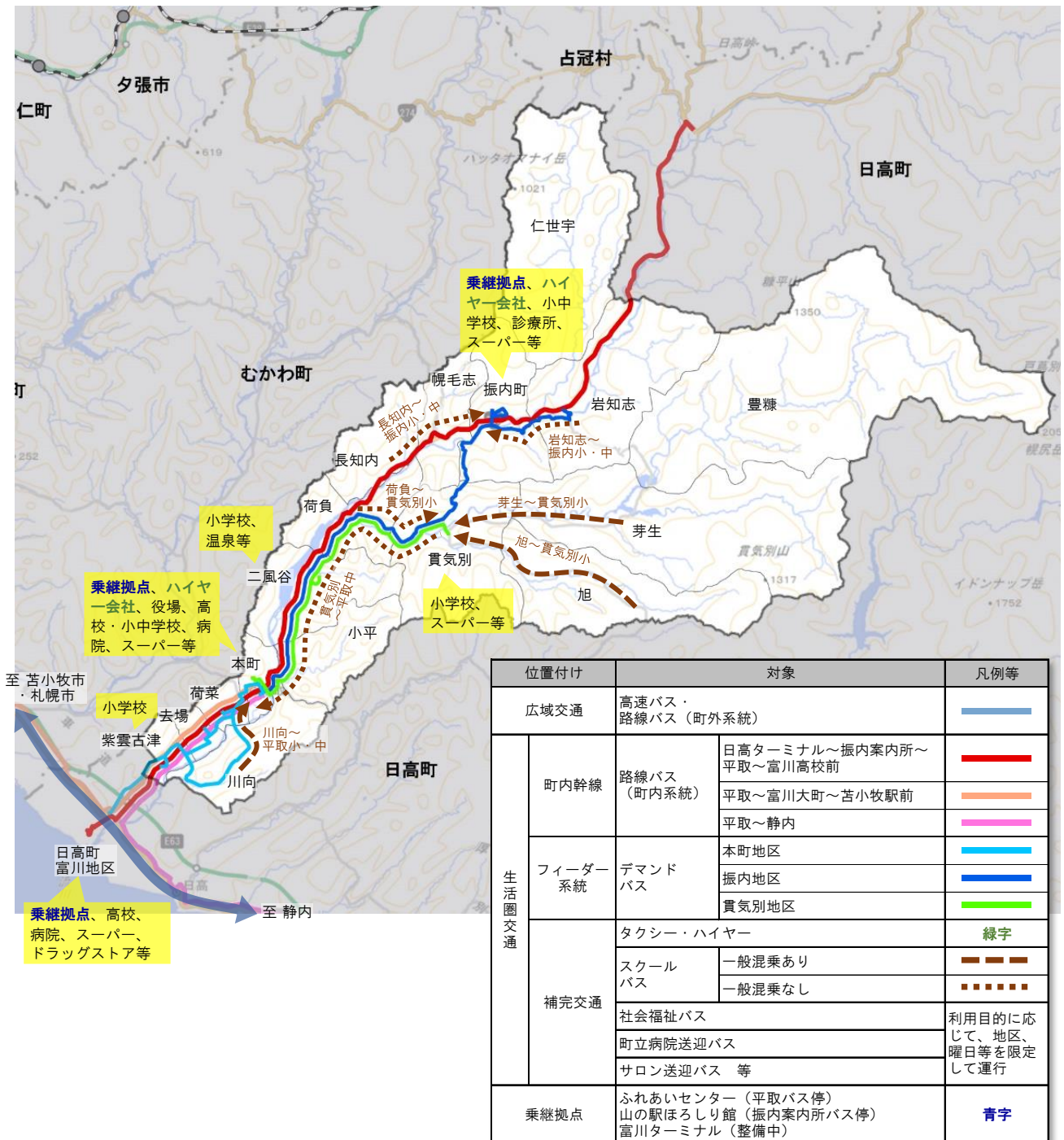


図 6.1 基本理念・方針及び目標を踏まえた平取町の公共交通体系のイメージ

表 6.1 公共交通体系の位置付け・役割及び確保・維持等の方針

位置付け		対象	役割	確保・維持等の方針
広域交通		高速バス 路線バス (町外系統)	札幌市や苫小牧市等、北海道や地域の中心都市への町民や来訪者の広域移動を担います。	移動実態やニーズを踏まえたネットワークの最適化を地域で検討しながら、必要に応じて、国や北海道の補助を活用して、運行を維持・確保します。【目標 3】
生活圏交通	町内幹線	路線バス (町内系統)	町内の中心部(本町・振内町)や隣接する日高町(富川地区等)を接続し、町民の生活移動を担います。	関係市町や運行事業者と連携し、利用促進等を図りながら、町財政による補助を行い、運行を維持・確保します。【目標 1,5,6】
	フィーダー系統	平取町 デマンドバス (本町地区・振内地区・貫気別地区3系統)	町内幹線がカバーしていないエリア等から町内幹線や広域交通に接続し、町民の生活移動を担います。	高度化や利便性向上等を検討しながら、地域公共交通確保維持事業(フィーダー補助)を活用して、持続可能な運行を目指します。【目標 1,2,6】
	補完交通	タクシー・ハイヤー スクールバス 社会福祉バス 町立病院送迎バス サロン送迎バス等	タクシー・ハイヤーが個人の事情に合わせた移動を補完するほか、各移動手段は、通学や通院、買い物、温泉などの利用目的に応じた町民の生活移動を補完しています。	地区の実情や町民ニーズ等を踏まえて、適宜運行形態の見直しや新たな補完交通の導入等を検討しながら、これら補完交通を継続的に確保します。【目標 1,5】
乗継拠点		ふれあいセンター (平取バス停) 山の駅ほろしり館 (振内案内所バス停) 富川ターミナル (整備中)	フィーダー系統と町内幹線、町内幹線と広域交通等の乗継における拠点としての役割を担います。	機能強化等を図り、乗継の円滑化や利便性向上を図ります。【目標 4】